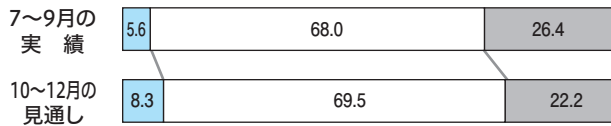


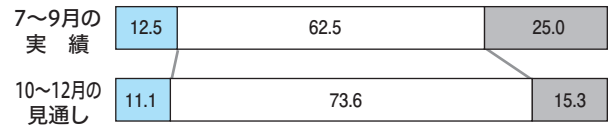
■ 製造業

回答企業数72企業(回答率100%)

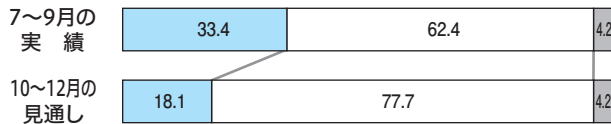
【業況】



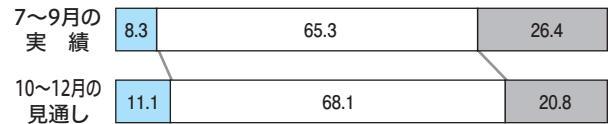
【売上額】



【原材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加(良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図



概況(7月▶9月期)

業況判断D.Iは△20.8、前期比3.9ポイントの低下

項目別では、売上額判断D.Iが△12.5と前期比6.9ポイント、収益判断D.Iが△18.1と同比8.2ポイントともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△5.6、前期比2.8ポイント低下、同収益判断D.Iが△19.4、同比6.0ポイント改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△15.3と前期比0.2ポイント改善し、人手不足感がやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは△6.9と前期比5.8ポイント改善しました。

借入金の動きでは、「借入した」が15.3%（前期19.7%）、「予定あり」が12.5%（同14.1%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は9.7%（前期8.5%）となりました。

経営上の問題点では、「原材料高」が50.0%、「売上の停滞・減少」が34.7%、「利幅の縮小」が26.4%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報



見通し(10月▶12月期)

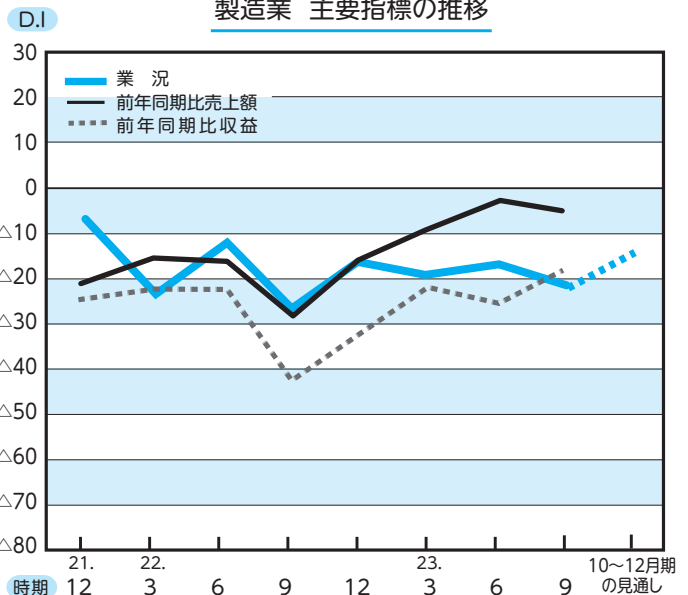
業況の見通し判断D.Iは△13.9、当期実績比6.9ポイント改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比8.3ポイント、収益判断D.Iが同比8.4ポイントともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比4.1ポイント低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比1.4ポイント、残業時間判断D.Iが同比1.3ポイントともに改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が62.5%、「販路を広げる」が34.7%、「人材を確保する」が25.0%と上位に挙げられました。

製造業 主要指標の推移



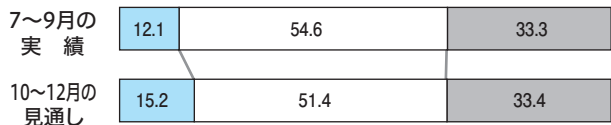
調査員のコメントから

原材料高騰の影響により利幅は縮小している。一方で受注状況は増加傾向にあることから、人手不足対応するため従業員募集するも思うような雇用が出来ていない。

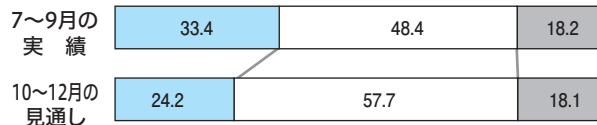
■ 卸 売 業

回答企業数33企業(回答率100%)

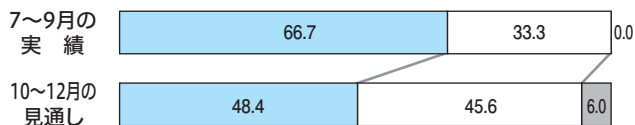
【業 況】



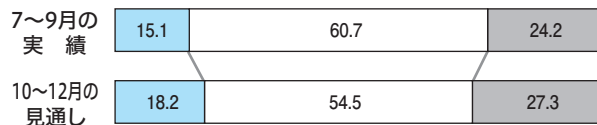
【売上額】



【仕入価格】



【収 益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(7月▶9月期)

業況判断D.Iは△21.2、前期比3.0%の改善



項目別では、売上額判断D.Iが△15.2と前期比27.3%、収益判断D.Iが△9.1と同比9.1%ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが9.1、前期比15.2%、同収益判断D.Iが△12.1、同比12.1%ともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△15.2と前期比3.1%低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは△6.1と前期比3.0%改善しました。

借入金の動きでは、「借入した」が12.1% (前期12.1%)、「予定あり」が3.0% (同18.2%) を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は15.2% (前期12.1%) となりました。

経営上の問題点では、「利幅の縮小」が48.5%、「売上の停滞・減少」・「同業者間の競争激化」がそれぞれ33.3%、「仕入先からの値上要請」が30.3%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(10月▶12月期)

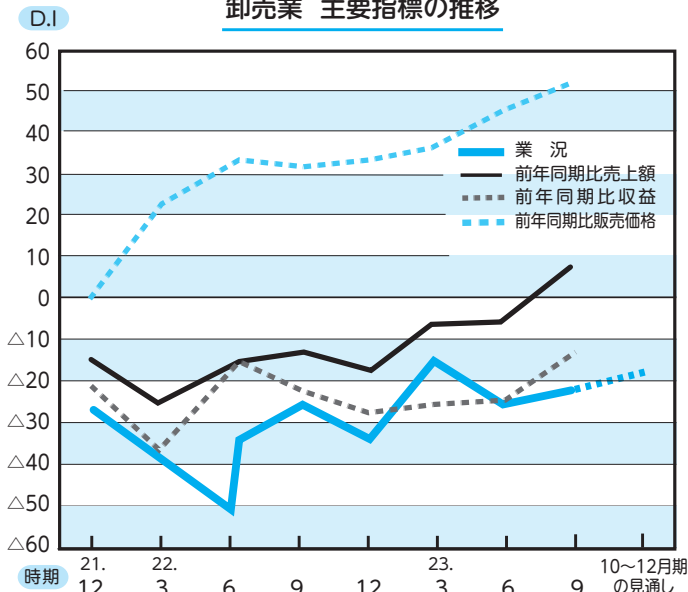
業況の見通し判断D.Iは△18.2、当期実績比3.0%改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比9.1%低下、収益判断D.Iが同比横ばいを見込んでいます。また、販売価格判断D.Iでは当期実績比6.0%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比3.1%改善、残業時間判断D.Iが同比横ばいの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」・「経費の節減」がそれぞれ63.6%、「情報力の強化」が24.2%、「品揃えを充実する」が21.2%と上位に挙げられました。

卸売業 主要指標の推移



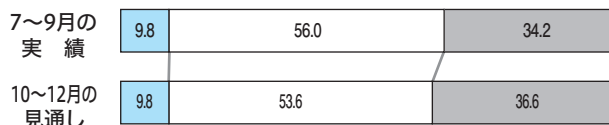
調査員のコメントから

仕入先と販売先双方に価格交渉を行い利幅縮小の打開策としている。なお、他社では取り揃えていないような商品を扱い多くの固定客から要望を満たすことで安定した売上確保に努めている。

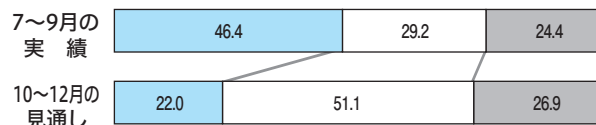
■ 小 売 業

回答企業数41企業(回答率100%)

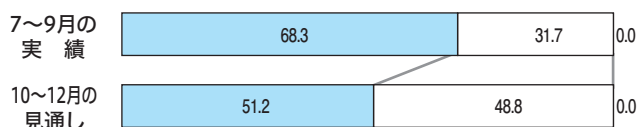
【業 況】



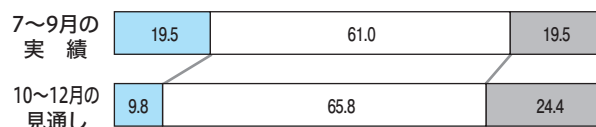
【売上額】



【仕入価格】



【収 益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図



概況(7月▶9月期)

業況判断D.Iは△24.4、前期比横ばい

項目別では、売上額判断D.Iが22.0と前期比24.4%改善、収益判断D.Iが0.0と同比7.3%ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが12.2、前期比12.2%、同収益判断D.Iが△4.9、同比9.7%ともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△17.1と前期比2.4%改善し、人手不足感がやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは△2.4と前期比9.8%改善しました。

借入金の動きでは、「借入した」が14.6%（前期17.1%）、「予定あり」が12.2%（同12.2%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は2.4%（前期4.9%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が41.5%、「大型店との競争激化」が26.8%、「同業者間の競争激化」・「仕入先からの値上り要請」がそれぞれ24.4%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報



見通し(10月▶12月期)

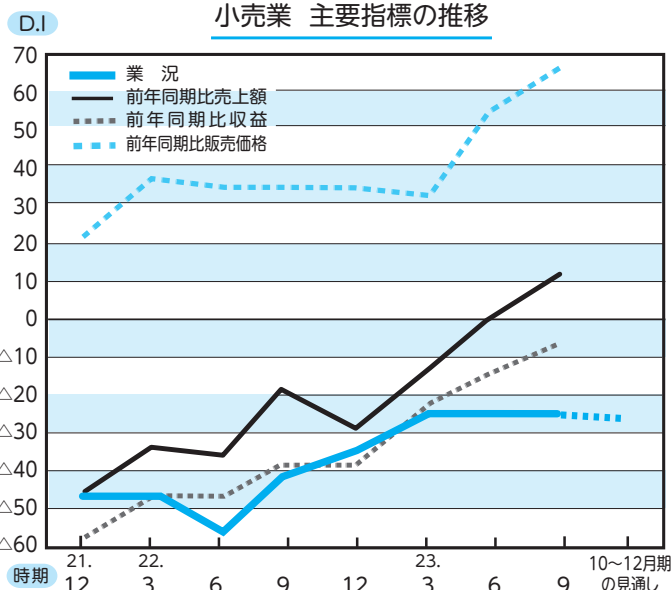
業況の見通し判断D.Iは△26.8、当期実績比2.4%低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比26.9%、収益判断D.Iが同比14.6%ともに低下を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比17.1%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばい、残業時間判断D.Iが同比2.5%低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が68.3%、「品揃えを改善する」が34.1%、「売れ筋商品の取扱」が26.8%と上位に挙げられました。

小売業 主要指標の推移



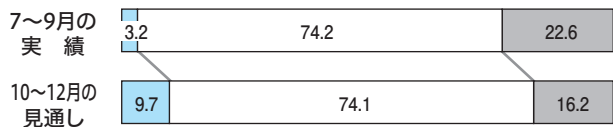
調査員のコメントから

高齢化による常連客の減少が大きい。また、集客力の低下等に問題があるため、店頭での販売に留めずインターネットを通じて販路を広げ売上確保に努めている。

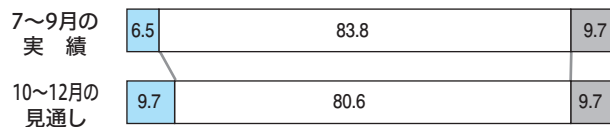
■ サービス業

回答企業数31企業(回答率100%)

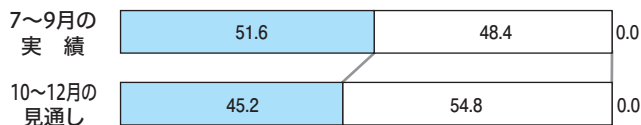
【業況】



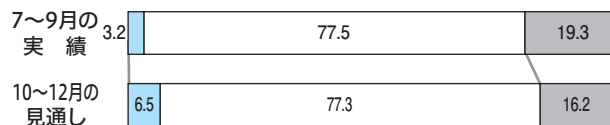
【売上額】



【材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(7月▶9月期)

業況判断D.Iは△19.4、前期比6.4%の改善

項目別では、売上額判断D.Iが△3.2と前期比19.4%、収益判断D.Iが△16.1と同比19.4%ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが9.7、前期比16.2%、同収益判断D.Iが△3.2、同比16.2%ともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△22.6と前期比9.7%低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは△6.5と前期比12.9%改善しました。

借入金の動きでは、「借入した」が6.5% (前期0.0%)、「予定あり」が3.2% (同3.2%)を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は0.0% (前期3.2%)となりました。

経営上の問題点では、「材料価格の上昇」が38.7%、「同業者間の競争激化」が35.5%、「売上の停滞・減少」・「人手不足」がそれぞれ22.6%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(10月▶12月期)

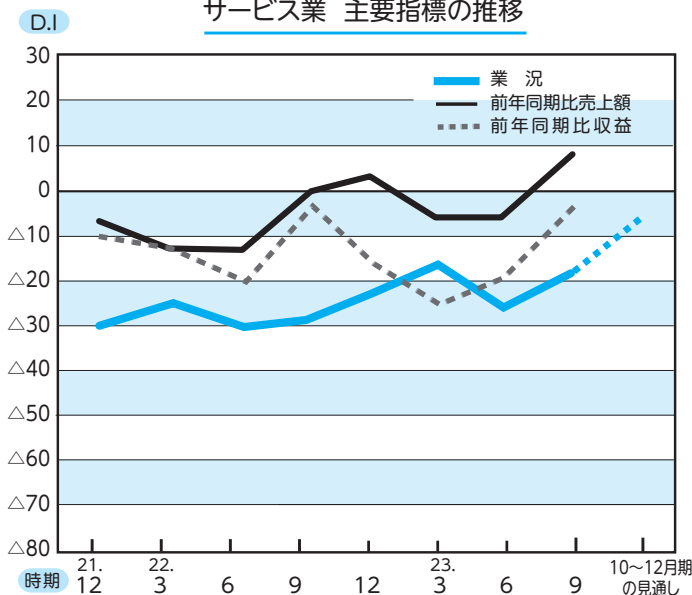
業況の見通し判断D.Iは△6.5、当期実績比12.9%改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比3.2%、収益判断D.Iが同比6.4%ともに改善を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比6.4%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比3.2%低下、残業時間判断D.Iが同比横ばいの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」が45.2%、「経費の節減」が41.9%、「人材を確保する」が29.0%と上位に挙げられました。

サービス業 主要指標の推移



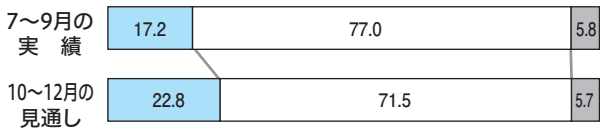
調査員のコメントから

少人数の客は戻りつつあるも団体客が少なくなっている。また、外国人実習生の積極的な登用により人手不足の解消に努めている

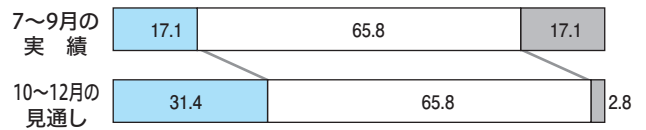
■ 建設業

回答企業35企業(回答率97.2%)

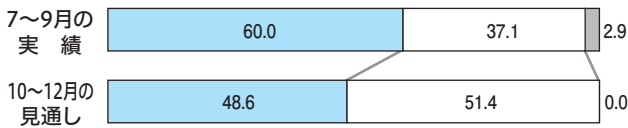
【業況】



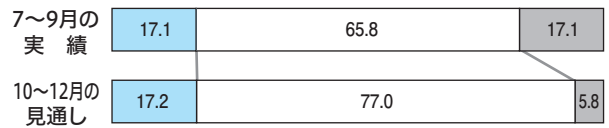
【売上額】



【材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図



概況(7月▶9月期)

業況判断D.Iは11.4、前期比11.4%の改善

項目別では、売上額判断D.Iが0.0と前期比2.8%、受注残判断D.Iが2.9と同比16.8%ともに改善しました。また、前年同季売上額判断D.Iが14.3、前期比8.7%、同収益判断D.Iが8.6、同比19.7%ともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△20.0と前期比11.7%低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは△8.6と前期比0.3%低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が37.1%(前期27.8%)、「予定あり」が22.9%(同16.7%)を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は14.3%(前期8.3%)となりました。

経営上の問題点では、「材料価格の上昇」が68.6%、「人手不足」が42.9%、「同業者間の競争激化」が34.3%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報



見通し(10月▶12月期)

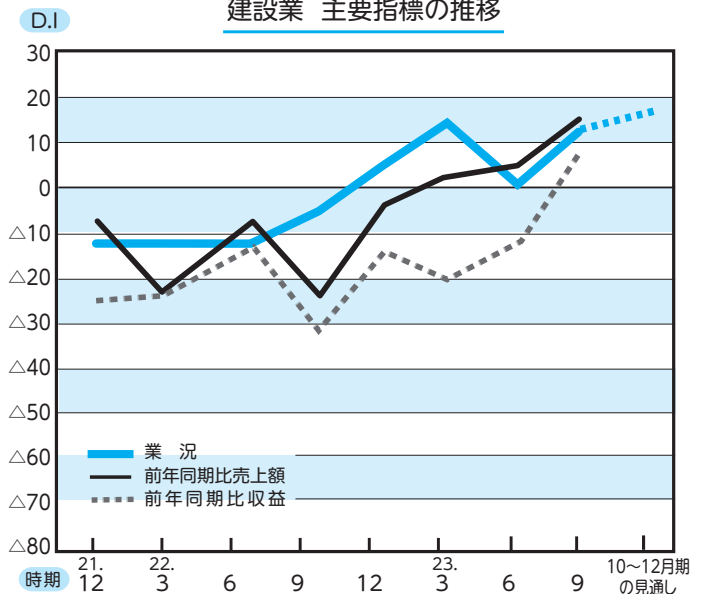
業況の見通し判断D.Iは17.1、当期実績比5.7%改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比28.6%、収益判断D.Iが同比11.4%ともに改善を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比8.5%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比5.7%低下、残業時間判断D.Iが同比2.9%改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が68.6%、「人材を確保する」が48.6%、「販路を広げる」が25.7%と上位に挙げられました。

建設業 主要指標の推移



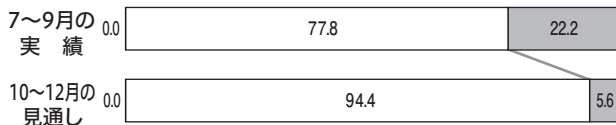
調査員のコメントから

受注状況は増加傾向にある。なお、今年は猛暑日が続いたため工事進捗状況に支障を来した。また、慢性的な人材不足から、労働条件等を見直し人材確保に努める方針である。

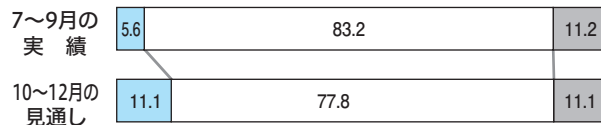
■ 不動産業

回答企業数18企業(回答率100%)

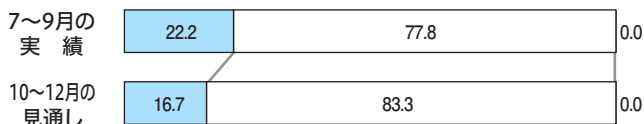
【業況】



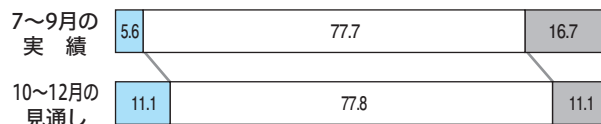
【売上額】



【仕入価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(7月▶9月期)

業況判断D.Iは△22.2、前期比16.6%の低下



項目別では、売上額判断D.Iが△5.6と前期比横ばい、収益判断D.Iが△11.1と同比横ばいとなりました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△11.1、前期比5.5%低下、同収益判断D.Iが△5.6、同比11.1%改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△22.2と前期比5.5%低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは0.0と前期比5.6%低下となりました。

借入金の動きでは、「借入した」が11.1% (前期5.6%)、「予定あり」が5.6% (同5.6%) を示しています。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が44.4%、「商品物件の不足」が27.8%、「売上の停滞・減少」が22.2%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(10月▶12月期)

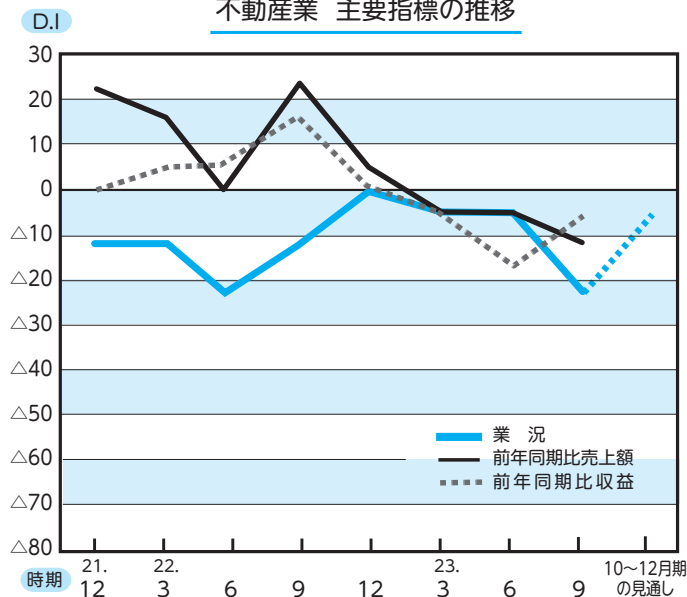
業況の見通し判断D.Iは△5.6、当期実績比16.6%改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比5.6%、収益判断D.Iが同比11.1%ともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比横ばいを見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばい、残業時間判断D.Iが同比5.6%増加の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「情報力の強化」が61.1%、「経費の節減」が38.9%、「販路を広げる」・「宣伝・広告の強化」がそれぞれ27.8%と上位に挙げられました。

不動産業 主要指標の推移



調査員のコメントから

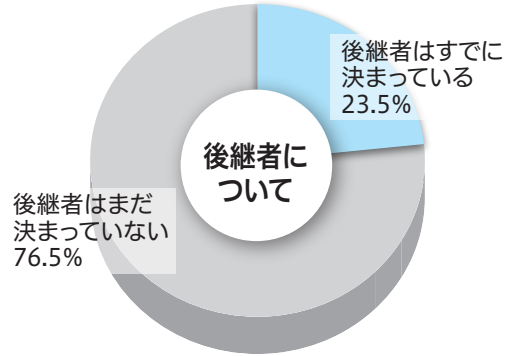
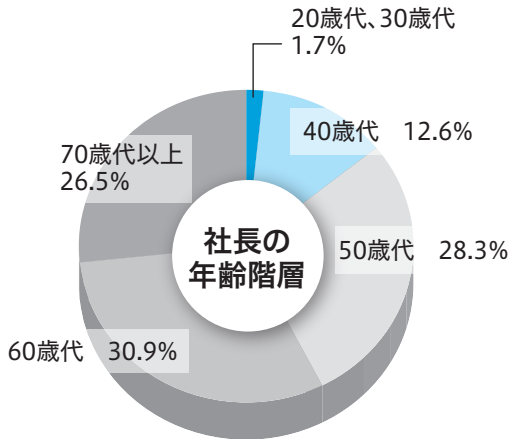
物価高により売上が伸び悩んでいる。今後は賃貸物件の修繕費等が高むことが心配である。

特別調査

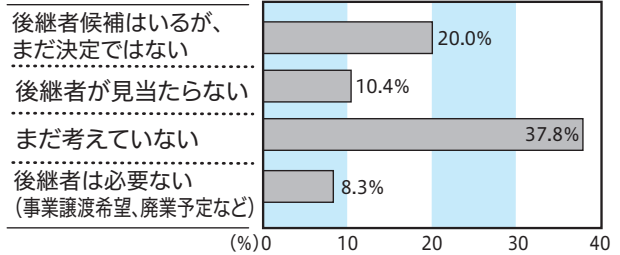
中小企業の将来を見据えた **事業承継** について

問1

貴社の社長（代表者）の年齢階層はいずれに属しますか。
また、貴社の後継者問題について最も当てはまるものをお答えください。

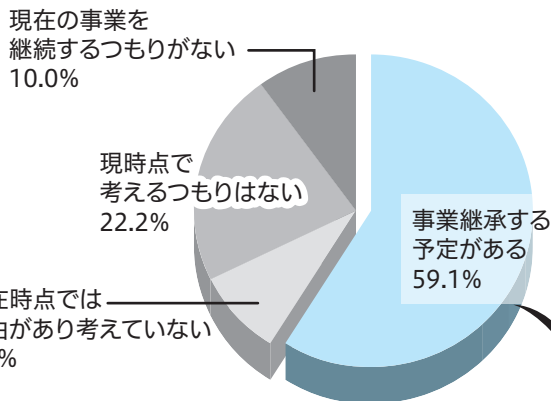


後継者が決まっていない要員

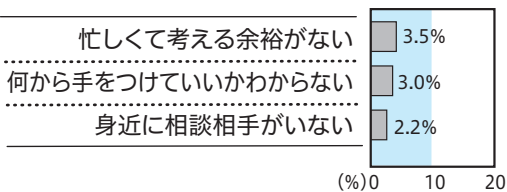


問2

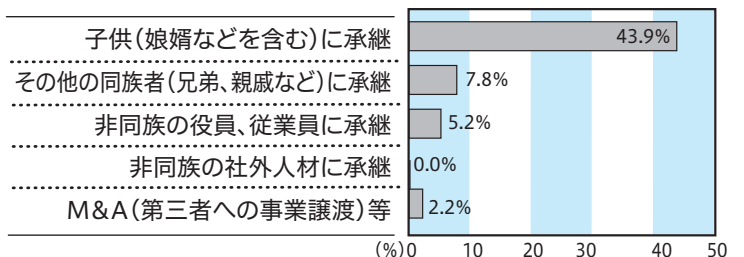
貴社の現時点における事業承継の考え方について最もあてはまるものをお答えください。



考えていない理由

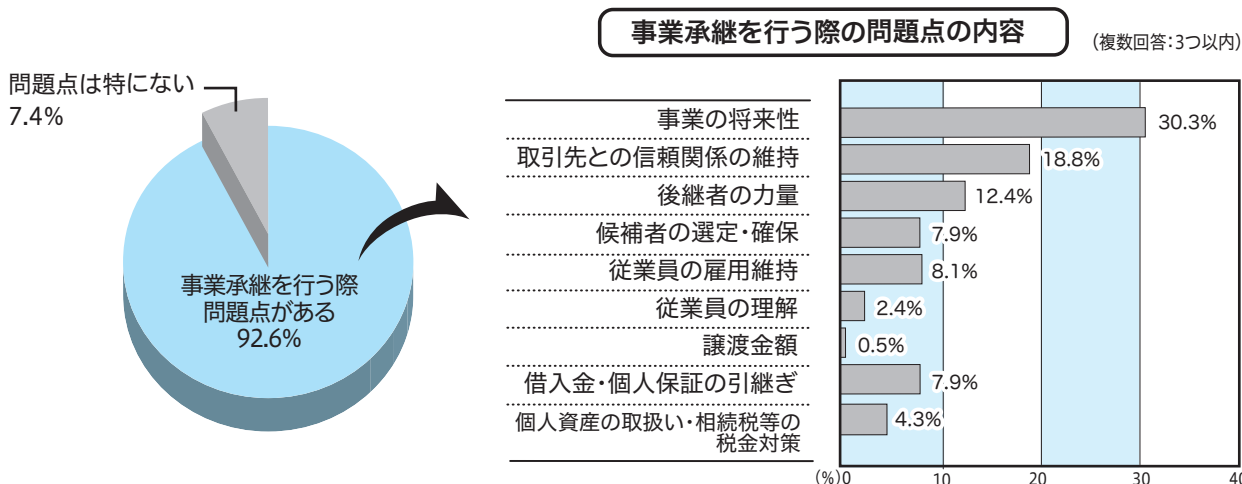


事業承継の候補先



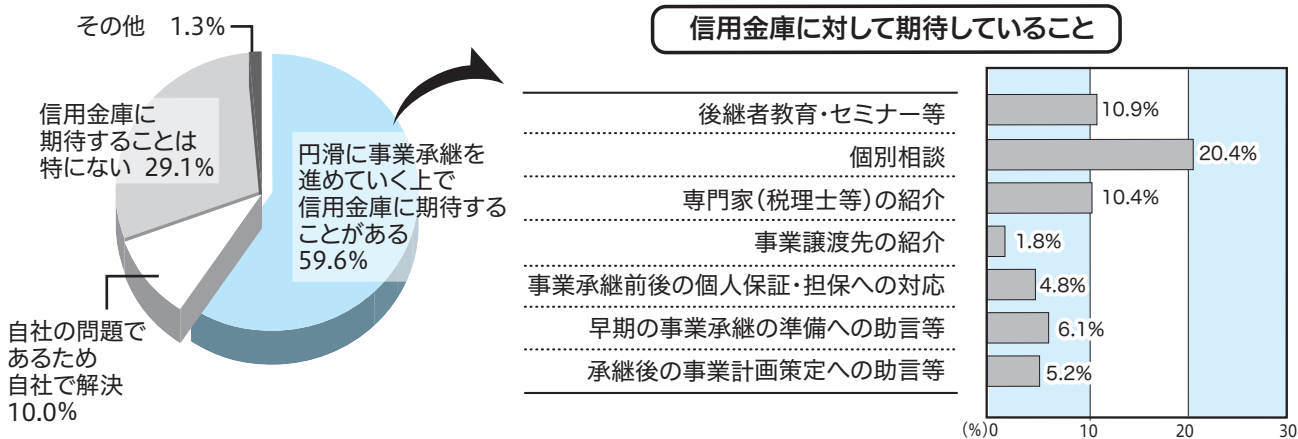
問3

貴社では事業承継を行おうとする際に、どのようなことが問題になると考えられますか。



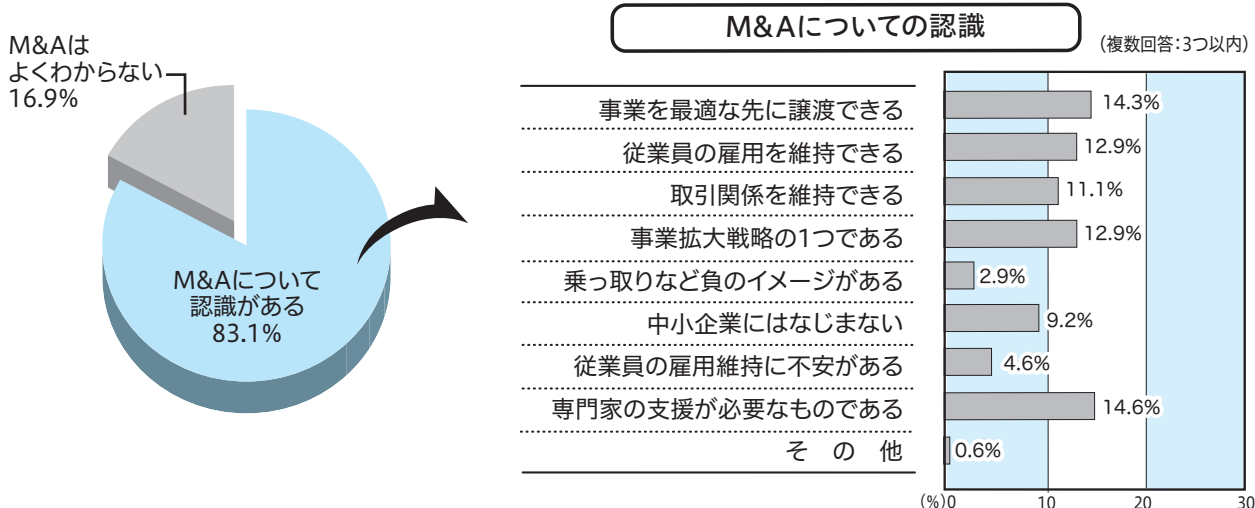
問4

中小企業が円滑に事業承継を進めていく上で、信用金庫には何を期待しますか。信用金庫に対して期待していること、もしくは今後期待したいことについてお答えください。



問5

近年、中小企業におけるM&A(第三者への事業譲渡)が話題になっていますが、M&Aについてどのような認識を持っていますか。



提携事業所にお勤めのみなさまへ

QRコードを読み取っていただくことで結城信用金庫のホームページにアクセスできます。



職域サポート契約制度

職域サポート契約制度とは？

当金庫と職域サポート契約制度を締結いただいている提携事業所にお勤めの皆様全員が対象となり、各種ローンをご利用される場合、特別金利でご利用いただける制度です。

提携事業所は、次のいずれの要件も満たすものとします。

- ①当金庫営業区域内で事業を営んでいる法人・個人事業所（従業員数5名以上）であること。
- ②手形交換所または電子債権記録機関の取引停止処分のないこと。
- ③当金庫との取引の有無は問いません。（当金庫営業区域内の地方公共団体等）

ご利用いただける方

（右記の条件をすべて満たされる方）

- 契約先の代表者、役員または従業員の方
- 申込時の年齢が20歳以上の方
- 保証会社の保証が得られる方

下記の
ローン商品の金利を
店頭表示金利から

年1.50%

引き下げます。

※ただし、他の金利引き下げ適用との重複はできません。

職域サポート契約制度の対象ローン（一社）しんきん保証基金6商品

一般個人ローン



ご融資金額 **500**万円以内

ご利用期間 **10**年以内

ブライダルローン



ご融資金額 **500**万円以内

ご利用期間 **10**年以内

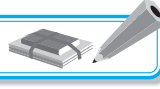
カーライフプラン



ご融資金額 **1,000**万円以内

ご利用期間 **10**年以内

教育プラン



ご融資金額 **1,000**万円以内

ご利用期間 **16**年以内

子育て応援プラン



ご融資金額 **100**万円以内

ご利用期間 **10**年以内

リフォームプラン



ご融資金額 **1,000**万円以内

ご利用期間 **15**年以内

商品の詳しい内容につきましては、お近くの窓口またはホームページにてご確認ください。

※上記ローンにつきましては、事前に審査があり、審査結果によってはご希望に添えない場合がございます。

※勤務先を通じてお申込みする必要はありません。直接当金庫の担当者へご連絡ください。

また、お申込みおよびお申込み内容等は個人情報ですので、勤務先へお知らせすることは一切ございません。

2025年版カレンダー「ユーシンのある街」写真コンテスト

結城信用金庫の店舗がある街で未来に残しておきたい風景・街並み・祭りなどをテーマに写真コンテストを開催中！

応募作品の中から優秀作品を選定し、2025年のカレンダーに採用します。

※応募要領につきましては当金庫ホームページをご覧ください。

— 後 記 —

ユーシン景気動向調査に、ご理解とご協力を頂きまして、厚くお礼申し上げます。

皆さまのご意見、ご希望をどしどしお寄せください。

結城信用金庫営業統括部

〒307-8601 結城市大字結城557番地
TEL(0296)32-2110 FAX(0296)33-0414
<http://www.shinkin.co.jp/yuki/>